

施策：	25	市民との情報共有の推進	財務コード	01020103-01-026
基本事業：	01	広報の推進	担当部	企画政策部
基本事業の成果指標	広報紙を読んでいる市民の割合 ホームページアクセス件数 SNSフォロワー数		担当課	秘書広報課
			担当係	広報広聴担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分			実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
筑紫野市内外の住民及び市内に通勤・通学している人			・広報業務としては、市ホームページの掲載及び内容の確認、SNS（Facebook、X(旧Twitter)、LINE、Instagram、YouTube）の運用、市民便利帳の発行の他、マスコミ等にイベント等の情報を提供します。 ・広聴業務としては、まちづくり座談会、まちづくりへの提案等を実施し、市民の声を取り入れながら、市民参画の市政づくりに努めます。							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
行政情報を分かりやすく積極的に提供を行うとともに、市民等からの意見・提案を受け入れ、情報の共有化を進め、市民協働のまちづくりを推進します。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標	
メディアでの報道件数		件		37	50	50			60	
まちづくり座談会の実施回数		回	0	11	17	17			17	
5. コスト										
事業費		計	千円	1,889	1,689	948	982			
		国	千円		0	0	0			
		県	千円		0	0	0			
		地方債	千円		0	0	0			
		その他	千円		45	5	5			
一般		千円	1,889	1,644	943	977				
正職員人工数		人工	1.4	1.5	1.5					
正職員人件費		千円	10,941	12,035	12,572					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	12,830	13,724	13,520	982				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）		・プレスリリースへの注力不足と、報道件数の情報収集方法が確立していないため、メディアでの報道件数については、目標を達成できなかった。 ・広聴事業としては、R6年度中にまちづくりへの提案を89件受付、まちづくり座談会を11回実施している。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	R6年度は秘書広報課担当者減により、各課へ呼びかけを十分に行えなかったため、メディアへの情報提供件数が昨年度より減少した。まちづくり座談会については、行政区だけでなくコミュニティや商工会とテーマを持って話し合うことで、具体的な意見交換ができ、参加者の満足度も向上している。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
R7年度より、報道件数はケーブルステーション福岡で放送された件数とする。										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
・H26年度から市公式Facebook・X(旧Twitter)開始 ・H27年度から市公式YouTube開始 ・R2年度から市公式LINE開始 ・R3年度から市ホームページをリニューアル、市公式Instagram開始 ・令和6年3月から魅力発信ポータルサイトを立ち上げ										